



# かみとんだ 議会だより

第136号

2011.12

平成22年度の決算は  
一般会計と特別会計あわせて、歳出総額115億6,984万7千円  
決算審査特別委員会を設置し審査を行うことになりました。



11月6日（日）に上富田地区の第34回農業祭が開催されました。  
（会場 上富田町役場駐車場 写真はオープニングのテープカット）

## 9月議会で4議員が一般質問を行いました！

- 山本明生議員： ☆台風12号による町内の被害について ☆熊野古道について
- 大石哲雄議員： ☆統合保育所について ☆町内放送について ☆紀の国国体について
- 木村政子議員： ☆防災について ☆南紀の台から峠交差点までの間、歩道の確保について
- 井潤 治議員： ☆地域交流センター紫蘭の施設充実と活用について
- ☆義務教育無償化めざし、“就学援助制度”の拡大・利用について
- ☆東日本大震災・福島第1原発事故の放射能汚染についての調査について
- ☆防災問題について ☆介護保険について

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763

TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

「議会だより」は、上富田町のホームページにも掲載しています。

# 会期（平成23年9月8日～16日）

## 9日間

# 9月 議会

9月定例会に町長から、決算認定、財政の健全化に関する報告、条例の改正、補正予算、工事請負契約など計29件の案件が提出され、決算認定については、特別委員会を設置し審査を付託、条例改正、補正予算については、原案のとおり可決しました。

## 補正予算関係（一般会計）

<平成23年度 一般会計補正予算（第2号）> …… 今回1億3,655万9千円を追加し予算総額を59億39万6千円としました。

### （補正した主な事業内容）

#### ◎総務費

- ・庁舎浄化槽ポンプ室及び槽内機械撤去工事請負費 …… 121万6千円  
（公共下水道つなぎ込みによる既存機器等の撤去）
- ・庁舎等改修工事請負費 …… 830万円  
（庁舎老朽箇所の改修）

（以下3件は雇用促進住宅譲り受けに伴う経費）

- ・定住促進住宅管理委託料 …… 517万1千円
- ・定住促進住宅工事請負費 …… 116万8千円
- ・独立行政法人雇用・能力開発機構負担金 …… 136万2千円

#### ◎農林水産業費

- ・大芝水中ポンプ改修工事請負費 …… 840万円
- ・木造住宅耐震改修費補助金 …… 94万5千円  
（耐震改修補助金1件分）
- ・維持補修工事請負費（道路橋梁） …… 500万円

#### ◎消防費

- ・消防団員公務災害補償等共済基金負担金 …… 319万2千円  
（東日本大震災での消防団員の殉職による遺族への公務災害補償費として負担金の追加掛金）

#### ◎災害復旧費

（以下5件は、6月11日、20日の集中豪雨並びに7月19日の台風6号により発生した被害の災害復旧費—公共土木施設災害復旧事業費35件、農林水産施設災害復旧事業費16件）

- ・災害応急復旧工事請負費（公共土木施設災害復旧費・単独災害復旧事業費）…………… 3,800万円
- ・現年発生公共土木施設災害復旧工事請負費  
（公共土木施設災害復旧費・現年発生公共土木施設災害復旧事業費）…………… 800万円
- ・災害応急復旧工事請負費（農林水産施設災害復旧費・単独災害復旧事業費）…………… 300万円
- ・現年発生農地災害復旧工事請負費  
（農林水産施設災害復旧費・現年発生農地災害復旧事業費）…………… 700万円
- ・現年発生農業用施設災害復旧工事請負費  
（農林水産施設災害復旧費・現年発生農業用施設災害復旧事業費）…………… 2,110万円

## 条例関係

### ◎上富田町税条例の一部を改正する条例

（この条例改正については、地方税法の一部を改正する法律が6月30日に公布されたことに伴い、本条例の一部を改正するもので、その概要は、寄附金税額控除の拡充等です。）

### ◎上富田町定住促進住宅の設置及び管理に関する条例

（上富田町内の定住促進を目的として、独立行政法人雇用・能力開発機構から雇用促進住宅上富田宿舎を買い取り、上富田町定住促進住宅として管理運営するための条例制定です。）

### ◎上富田町定住促進住宅基金条例

（上富田町定住促進住宅の大規模改修工事や施設の維持修繕費の財源として、家賃を活用することで、円滑な管理及び運営に必要な財源を確保し、将来にわたる町財政の健全な運営に資するよう基金条例を制定するものです。）

## 不動産取得について

独立行政法人雇用・能力開発機構が所有している雇用促進住宅上富田宿舎の建物と土地を購入するもの。  
建物—4,516、47㎡　土地—6,157、83㎡

## 工事請負契約等（指名競争入札）

◎工事名 …… 平成23年度 第1－1号

公共下水道事業 朝来下水道管（22工区）布設工事（補助）

契約額 …… 91,332,150円

契約相手 …… 和歌山市小松原通三丁目69番地

株式会社 浅川組 取締役社長 池内茂雄

# 会期 (平成 23 年 10 月 7 日)

## 1 日間

# 10 月 臨時会

## 補正予算関係 (一般会計)

<平成 23 年度 一般会計補正予算 (第 3 号)> …… 今回 5 億 5,331 万 9 千円を追加し予算総額を 6 億 4,371 万 5 千円としました。

### (補正した主な事業内容)

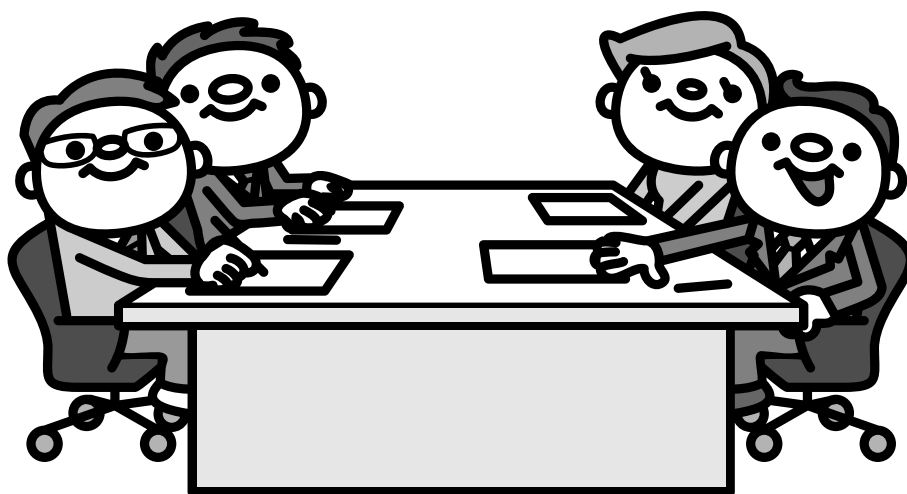
#### ◎災害復旧費 (台風 12 号、15 号により発生した被害)

- ・公共土木施設災害復旧事業費 35 件 …… 2 億 2,285 万円
- ・農林水産施設災害復旧事業費 32 件 …… 2 億 5,076 万円
- ・単独災害復旧事業費 122 件 …… 7,050 万円

## 条例関係

#### ◎上富田町教育委員会教育長の給与の減額支給に関する条例の一部を改正する条例

(この条例改正については、教育長の給与について、行財政改革の一環として、給料月額額の 100 分の 10 の減額を平成 23 年 9 月 1 日から平成 27 年 8 月 31 日までの間、引き続き実施するものです。)





9月議会で、平成22年度の各会計の決算認定が提出され、吉田監査委員から決算監査報告がされました。その中から抜粋して掲載しています。

8月1日から9月2日まで各会計にわたり、井上秀男代表監査委員とともに、16会計の決算審査を行いました。

各会計の予算額及び収入支出済額は、予算台帳、並びに出納日計簿等により出納証書類を余すところなく照査の上、さらにその内容につき、審査したところ各会計にわたり、係数は正確であり、内容的にも正当なものと確認しました。

平成22年度の一般会計決算額は、歳入で61億8,907万5千円。歳出で60億7,940万1千円。歳入歳出差引額は、

1億967万4千円になります。その内、翌年度への繰越財源1,185万4千円を差し引いた実質収支額は、9,782万円の黒字となっており、これは、厳しい財政事情が続く中、行財政改革の効果が現れたものと考えます。

歳出面では、人件費の決算額が8億7,955万5千円で、前年度に比べ1.3%減少しており、これは、職員数の削減によるものです。扶助費については、前年度に比べて36.8%増加しており、これは、子ども手当の増によるものです。

補助費等については、前年度に比べて18.8%減少しており、これは、定額給付金の減によるものです。

歳出全体では、経常収支比率が88.5%と前年度よりも改善されています。これは、扶助費が増加傾向の中にあつて、人件費の抑制等に取り組んだ成果なので、今後とも経常的な経費の抑制など財政構造の弾力化に引き続き努めるよう指摘し

ています。一方で、実質公債費比率は、19.8%となっており、前年度に比べ改善されてはいるものの、比率としては依然高い水準であるので、計画的な公債費抑制に留意するよう指摘しています。

一方、歳入面においては、自主財源の構成比が35.9%、依存財源の構成比が64.1%と、自主財源比率が前年度に比べ向上しています。今後とも、自主財源の確保はもとより、国県支出金等の依存財源の確保にも、一層の努力をするよう要望しています。

次に、町税の徴収率は92.6%、収入未済額は1億1,313万4千円であり、これを含めた一般会計全体を通じての未収金の合計額は、1億2,491万5千円となっています。

未収金の徴収については、引き続き厳しい状況が続くものと思われるところですが、公平負担が基本であり、その観点から、一層の徴収率向上に努めるとともに、和歌山県地方税回収機構を積極的に活用するなど、滞

納整理に格段の努力をするよう指摘しています。

また、公営住宅料や保育料など各種料金を含めた未収金の徴収についても、万全を期すよう要望しています。

次に、一般会計の年度末町債現在高は60億2,853万円となっており、前年度に比べ1.0%減少しています。

平成22年度の町債の借入額は5億9,678万4千円で主なもの、臨時財政対策債、スポーツセンター改修事業債、岡小学校屋内運動場建築事業債となっています。

現在の町財政は多額の起債償還に追われ、極めて厳しい財政運営が続くと予想されます。その一方で行政需要は、益々多岐多様になっていくものと考えられるので、より一層効率的な行財政運営に努め、上富田町の発展と町民の福祉向上に寄与されるよう要望しています。

尚、特別会計等については、紙面の関係で省略しています。

## 平成22年度 一般会計・特別会計決算額

(単位：円)

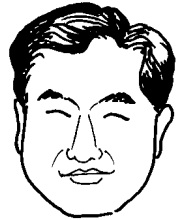
会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度繰越額	実質収支額	
一般会計	6,189,075,276	6,079,400,967	109,674,309	11,854,000	97,820,309	
国民健康保険事業	1,888,731,489	1,866,777,852	21,953,637	0	21,953,637	
老人保健	1,089,063	1,089,063	0	0	0	
町営砂利採取砕石事業	76,400,198	76,400,198	0	0	0	
宅地造成事業	217,924,187	695,511,094	△477,586,907	0	△477,586,907	
共同汚水処理施設事業	80,787,268	80,787,268	0	0	0	
宅地取得資金貸付事業	2,806,090	8,491,661	△5,685,571	0	△5,685,571	
住宅新築資金貸付事業	17,401,854	60,700,794	△43,298,940	0	△43,298,940	
奨学事業	8,449,284	8,446,823	2,461	0	2,461	
農業集落排水事業	183,455,513	183,455,513	0	0	0	
公共下水道事業	440,688,068	439,964,771	723,297	0	723,297	
介護保険	1,070,075,636	1,069,613,588	462,048	0	462,048	
後期高齢者医療	220,222,931	220,028,840	194,091	0	194,091	
朝来財産区	5,088,152	4,237,889	850,263	0	850,263	
西牟婁郡公平委員会	1,403,506	1,303,719	99,787	0	99,787	
水道事業	収益的事業	456,973,537	394,835,347	62,138,190	0	62,138,190
	資本的事業	237,147,544	378,801,617	△141,654,073	0	△141,654,073
合計	11,097,719,596	11,569,847,004	△472,127,408	11,854,000	△483,981,408	

# ここが聞きたい!

## 山本明生議員

1. 台風12号による町内の被害について
2. 熊野古道について

平成23年9月定例会の一般質問は、日程2日目の9月13日に行われ、4議員が登壇し、当局の考えを質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。



山本議員

### ① 台風12号による町内の被害について

台風12号による豪雨で、紀伊半島各地に人的にも物的にも多大な被害が出ました。亡くなられた方及び被災された方には心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。町内の被害状況、被害額を発表していただきたい。また、二次災害を防ぐために緊急避難の発想で対応をお願いしたい。

**町長** まず始めに台風12号による町内の被害についてであります。大まかな箇所とかについては、現在のわかり得る範囲で担当の方から説明させていただきます。

**産業建設課長** 今現在、情報収集を行っている最中で、金額についてはアバウトですが、まずトータル的に昨日現在で、230件の被害がありま

す。その内訳といたしましては、県関係も含みますけれども、町道、河川等で100件、農地あるいは農業施設52件、林道につきましては4路線という形の中で約24件を数えています。これ以上になると思います。急傾斜等12件、治山については4件、その他16件、他微細な被害等合わせて230件です。金額は公共土木災害2億5千万、農地、農業施設で1億5千万、林道8千万、農作物等で3千2百万です。

### ② 熊野古道について

去る8月11日付の新聞に、熊野古道の王子社も世界遺産にとの記事が掲載されていきました。世界遺産、紀伊山地の霊場と参詣道に含まれていない王子社の追加指定を目指すとの内容であります。町内にも八上、稲葉根、一ノ瀬とありますが、当然世界遺産となれば喜ばしい限りではありませんが、反面、規制も厳しい条件があると思います。当局の今後の動向と見解を聞かせていただきたい。

**町長** 熊野古道でありませんが、質問の主旨については担当より説明させますが、私は歴史的な文化財は町の指定とか県の指定、国の指定を受け、指定については段階的なこともありますが、保存が必要と考えています。熊野古道以外にも文化的なものは保存し、熊野古道につきましては、八上王子、稲葉根王子、一ノ瀬王子があり、ポイントポイントでできないかと県の方で検討しています。上富田町は中間は無理らしいが、できたらそういう点でも指定が受けられるものであります。指定を受けたい気持ちにはあります。ただその中で地元がそのことを理解してくれるか、くれないかということが非常に問題になってきます。できまして、そういうことがあっても、保存することにつきましては大事なことでありますので、地元の理解をいただきたいと思えます。

**教育委員会生涯学習課長** 現在、和歌山県では平成23年度より5ヶ年計画

で文化財の指定促進を図っております。世界遺産、紀伊山地の霊場と参詣道に含まれていない王子社の追加指定を目指す学術調査委員会が発足されております。その委員会の中で町内の3つの八上、稲葉根、一ノ瀬の王子社が世界遺産登録の候補として上がっております。今後県の計画を十分把握し、県と十分協議しながら進めてまいりたいと思えます。



八上王子（八上神社）



# 大石 哲雄 議員

1. 統合保育所について
2. 町内放送について
3. 紀の国国体について



大石 議員

## ① 岩田地区の協和ブ ロック跡地に建設 予定の統合保育所 について

(一) 交通安全対策として  
点滅信号の設置はどうか。

**町長** 統合保育所につい  
ては、現在、設計中で、  
平成25年4月開所に向け  
て取り組んでいるところ  
です。

統合保育所の位置を決  
めるに当り、現在の保育

所と比較するとともに、  
利便性等を検討し決定し  
ております。

交通の利便性や危険性  
も含んで検討していま  
す。点滅信号は必要であ  
ろうと思うが、今の時点  
ではやはり難しい。

(二) 3保育所の跡地利  
用の方針は。

**町長** 生馬、岩田保育所  
の土地は、財産区とか愛  
郷会の土地です。その関  
係上、後の土地利用につ  
いてはそこにどういふ  
うにするか検討をお願い  
しています。

市ノ瀬保育所について  
は町の所有であります。  
ただ、耐震化されていな  
いのですが、私としては  
何らかの利用をしたい。

(三) 給食は従来どおり  
町内業者から食材を購入  
するののか。

**町長** 私はできる限り上  
富田町の業者の人が潤う  
ような格好にさせて頂き  
たい。地産地消という問  
題はありますけど、それ  
は無理です。

(四) 現在の各保育所と統  
合保育所の比較で、子ど  
もの数と保育士の数の比  
率はどうなるか。(予測で)

**町長** 現在の保育所につ  
いては臨時保育母も入れ  
て、相当充実しています。  
統合することによってど  
うするか、今後、保育所  
の担当の者とか副町長に

検討させますが、原則的  
には保育士の数は下がる  
方向になると思います。  
尚、保育行政は非常に

難しくなってきたいま  
す。平成23年度の予算で  
は、3億円ほど保育料の  
運営費に対し、国・県で  
600万円しか補助金が  
ない状況です。子ども手  
当をする前にこういう部  
分にやはり力を入れて頂  
きたい。

**住民生活課長** 児童数に  
対する保育士数は、最低  
基準があります。基準と  
して、0歳児はおおむね

3名につき1名、1、2  
歳児はおおむね6名につ  
き1名以上、3歳児はお  
おむね20名につき1名以  
上、4歳以上はおおむね  
30名につき1名以上の保  
育士の配置が決められて

います。現在の各保育所  
の保育士数につきまして  
も、当然最低基準以下に  
ならないよう配置してい  
ます。統合保育所につい  
ては、予想の範囲内です  
が、保育士17名程度で児  
童8名につき1名の保育  
士が必要になると考えて  
おります。

## ② 町内放送について

(一) 聞こえにくいある  
いは全く聞こえないとい  
う苦情がある。緊急時に  
果たす役割と重要性を考  
え、放送網の整備する考  
えはないか。

**町長** 放送については、  
今後、検討するが、この  
費用については莫大な費  
用がかかります。

(二) 放送に対する苦情は  
町当局にきていないか。

**町長** 苦情は来ているの  
が事実です。その場合で  
も、スピーカーの事情と  
かを調べて、こういう事  
情でやはり聞きにくい  
から了解してほしいとお願  
いしていますが、納得は  
していただけません。



統合保育所入口付近

# 木村政子 議員

1. 防災について
2. 南紀の台から峠交差点までの間、歩道の確保を
3. 地域交流センター「紫蘭」の施設充実と活用について



木村議員

## ①防災について

台風12号の際、防災かみとんだで「緊急放送です。中辺路町滝尻付近で山崩れが発生し、富田川をせぎとめており、決壊して土石流が発生する可能性があります」ので、できるだけ高い場所に避難を」という避難勧告が流れました。避難場所を具体的に指示してもらいたいとの要望があるが、どう考えるか。

町長 富田川の上流の中

辺路町や町内の降雨、川の水位を見て判断した。満水まで2メートルの余裕があったので明るくなつてから避難ができるよう、朝9時に放送した。

上富田中に来てもらえば2階に上がってもらう準備をしていたし、放送が聞きとれない場合に備え、自主防災組織に電話連絡した。

先日のような雨の場合、上富田町は土砂崩落の可能性がある。今後、要支援者の避難の援助や、字ごとに、どの地点が安心かを研究していきたい。

## ②南紀の台から峠交差点までの間、歩道の確保を

最近、南紀の台から峠交差点までの間、車の通行量が多く、歩行者がヒヤヒヤしている。当面の処置として路側帯に標識を置くなどの方法は出来ないか。

町長 道の幅員等は調査している。大体6メートルはあるが、道路構造令

で歩道が設置できる幅員でない。標識を立てたり、車椅子の方が通りにくいなど、いろんな難しい問題があるので、注意喚起のものになる可能性が高い。

産業建設課長 南紀の台1号線の通行量が増えていくことは認識している。センターラインの移動も考えたが、左側通行の部分もできる矛盾もあるので、一層研究する。

## ③地域交流センター「紫蘭」の施設充実と活用について。

8月中は運営委員が当番制で開所し、200人の来所があった。ビニールプールが非常に人気があった。冬場に向けて、室内用のプランコかすべり台を設置できないか。又、図書貸し出しについても考えてはどうか。

子どもたちの利用は多いが、高齢者の利用を増やす方法、特に子どもと高齢者が一緒に出来る取り組みを考えてもらいたい。

町長 今までは国からの

交付金で賄ってきたが、打ち切りになった。町としては、一層の充実を図りたい。その地域で、どういうことが一番いいのか考えてもらいたい。町としては三世交代流か、それに近いものをしてほしい。

本の貸し出しについては図書館を参考に、運営委員会で検討してもらいたい。

住民生活課長 子育てされている保護者の交流の場として、利用していただきたい。

冬場に向けての簡単なプランコ、すべり台等の設置については利用状況などを検討しながら考えたい。

今後の活用については、9月より相談員兼管理人を置いて、住民生活に光をそそぐ交付金事業の趣旨に沿って、DV対策、弱者対策、その他気軽に集う施設として充実していきたい。



峠から南紀の台に至る町道



# 井 潤 治 議員

1. 義務教育無償化をめざし“就学援助制度”の拡大・利用について
2. 東日本大震災福島第1原発事故の放射能汚染についての調査について
3. 防災問題について
4. 介護保険について



井潤議員

## ①義務教育無償化をめざし、就学援助制度の拡大・利用について

**質問** 就学援助は、教育の機会均等を定めた憲法第26条、教育基本法、学校教育基本法に基づく制度です。就学援助制度の活用状況について、2010年度から今までの支援項目にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費も対象になっているこ

とについて。就学援助の申告漏れはないか。受給児童・生徒数は、支給比率は、中学生の場合の支給は入学後だが入学前の方が必要でないか。援助金の拡大はできないか。

### 教育委員会総務課長

平成22年度から国庫補助対象である要保護世帯にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費が加えられています。主要保護世帯には、三位一体の改革で平成17年度から一般財源化され、現在町単独事業として実施しています。

拡大については平成22年度で試算すると小中学生で約370万円の経費が必要です。22年度援助費は673万3,272円です。合計1,040万円の多額となります。拡大は難しいですが付近市町の動向を見ながら検討していきます。

中学生の就学援助入学前支給について、付近市町の動向を含め研究させていただきます。

小学生で10.1%、中学生で16.5%、全

## ②福島第一原発事故の放射能汚染調査について

体で12.2%となつて約1割の児童生徒への支給比率となっております。小学校では950人中96名、中学校では461人中76名、全体で1,411人中172名です。

### 質問

6月議会で私は原発の問題で3つの質問をした。原発技術の問題、安全神話の問題、紀伊半島に原発は要らない、の3つです。原発技術の問題では町長は、その認識を示す答弁はありませんでした。

しかしこの原発事故で住民の間で、大気中に放出された放射能が町にも及んでいるのではないかと不安があります。水道水に暫定基準を超える放射性ヨウ素131が検出されないか。学校、保育所、幼稚園、町内福祉施設、子どもの給食材料、土壌、野菜は大丈夫か、汚染調査をしてはどうか。空間放射線量調査をすべきでないか、公的機関が調査の

データが町にあるか。

**町長** 福島県で起こった問題で国、近畿圏のレベルで測定するもの。県は測定公表している。

### 総務政策課長

県は県内放射能汚染の調査、最も信頼度の高い国統一基準、放射線モニタリング調査、環境衛生研究所の常時、放射線空間放射線の量率の測定をしている。それから震災後の最大数値については7月7日0.054マイクログシーベルトを記録しています。原発事故以前の同センター平常時の範囲は0.031〜0.056マイクログシーベルトの数値の範囲内でございます。なお周辺、四日市市、奈良市、大阪市、高松市、徳島市の測定でも過去の平均値内で、これらの調査結果に異常があれば町独自の調査の検討が必要ですが、いずれも国の統一基準であり信頼性が高く適切と考えています。

水道水蛇口測定では環境衛生研究センター測定で放射性ヨウ素131、放射性セシウム

134、137は調査開始3月18日から検出はされています。放射性物質濃度が指標等を超過した地域は国の重要モニタリング地域として指定され監視となりますが、県は当該指定は受けていない地域です。

子どもの生活の場、学校、幼稚園、保育所、給食材料については文科省による福島県下、学校屋外活動の制限空間放射線量率の数値は3.8マイクログシーベルト毎時以上になります。県の数値は3.8マイクログシーベルトをはるかに下回っていますので問題のない状況と考えております。学校給食については材料産地把握をしています。土壌汚染に關しても県国基準モニタリング調査で、4月に放射性ヨウ素131が1km当たり24.8メガベクレルを記録した日がありますが、この

数値は健康に何ら影響を与える数字でないと考えます。したがって現時点で空間放射線量率の平均値であることから直ちに問題のレベルでないと考えます。町独自で調査しても、それを判断できる技術者が職員にいないこと、危険レベルが高くなれば広域的な問題になり県等に調査を要求する場合もあります。

**他に、防災問題** ①防災意識について②公共施設現状把握の問題③町職員の防災意識づくりの問題④12号台風災害への対応、介護保険(第5回改定)について問題点を質問しています。



# 各委員会による現地視察

高速道路対策特別委員会現地視察  
8月31日 5箇所



朝来峠地区改良工事（朝来峠インター）現場



岩崎野田地区函渠工事現場



朝来防災公園（防災備蓄庫）現場



上富田中学校（耐震工事）現場





高齢者優良賃貸住宅ファミリーハウス（岡地区）

9月6日、全議員で台風12号による被害状況の現地調査を実施いたしました。  
(調査箇所 19箇所)



現地調査打ち合わせ中



生馬橋下河川公園流出



生馬白滝地区白滝橋橋脚、橋台破損





生馬板木地区護岸決壊流出

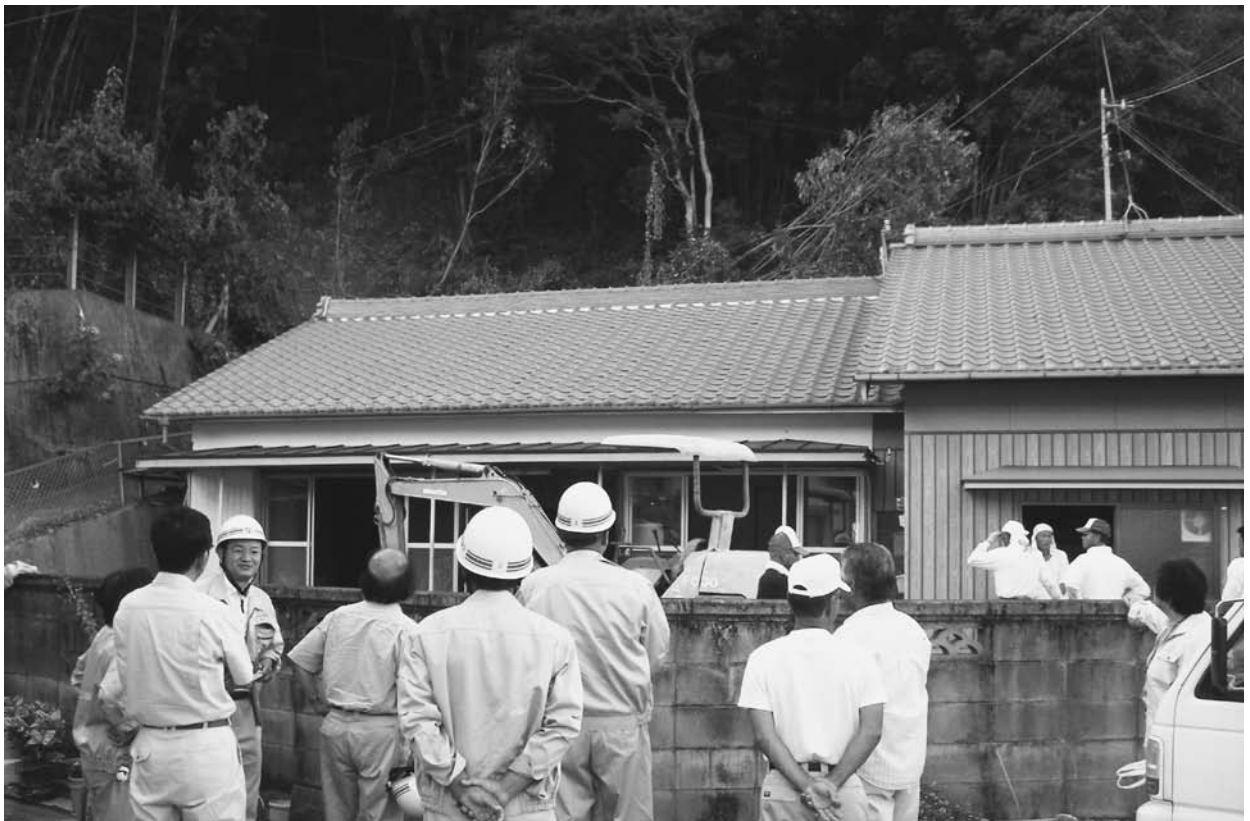


市ノ瀬汗川地区山腹崩落





岩田上岩田地区（元愛の園）地すべり



朝来飛曾川地区裏山地すべり

# 田辺市及び周辺町議会議員研修会が開催されました。

日 時 平成 23 年 10 月 31 日 場 所 みなべ町  
主 催 田辺市及び周辺町議会正副議長会



今年の研修は、「巨大地震で問われた自治体の防災・危機管理」をテーマに防災・危機管理アドバイザーの 山村 武彦 氏を迎えての講演があり、時宜に合った話に参加者全員熱心に聴講しました。

平成 23 年度の田辺市及び周辺町議会の全議員を対象にした研修会が開催されました。

構成	田 辺 市	議員定数	2 6 名
	みなべ町	"	1 4 名
	白 浜 町	"	1 6 名
	すさみ町	"	1 0 名
	上富田町	"	1 2 名

この研修会は、田辺周辺広域圏のふるさとづくりの進展に役立てるとともに、議員相互の理解と連帯感を深めることを目的として、構成する各市町が毎年持ち回りにより開催しており、今回はみなべ町で行われ、当議会からも各議員と小出町長が参加しました。

## 平成 22 年度一般会計・特別会計 決算審査特別委員会を設置

平成 22 年度の決算認定について、9 月定例会の冒頭に 16 会計が上程されました。

木村会計管理者より概要説明があり、吉田盛彦監査委員から監査報告を受け、委員 6 名で構成する決算審査特別委員会を設置し、次の 12 月定例会までに 16 会計の審査を行うことになりました。

委員 長	三 浦 耕 一
副委員 長	畑 山 豊
委 員	山 本 明 生
"	木 村 政 子
"	木 本 眞 次
"	井 澗 治



### 編集後記

議会だよりをお届けします。今回は 9 月定例会で審議した一般会計補正予算等の主な内容と、4 議員の一般質問の内容、10 月臨時会で審議した一般会計補正予算等を掲載しています。ご覧ください。

今回の台風 12 号は、戦後最大の雨量となり、当町では、人的被害はありませんでしたが、各所で災害が発生しました。議会では全議員による被害実態調査を実施したところであります。町内はもとより県内をはじめ各地において甚大な被害を受けられました方々につつしんでお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々に心からお見舞い申し上げます。

これから冬に向かって寒さが厳しくなってきます。皆様お身体には十分ご自愛ください。